

令和6年度第2回「阪南2区人工干潟から始めるSDGs活動」干潟観察会の概要

- 日 時 令和6年8月18日(日) 11:00~16:00
- 場 所 阪南2区人工干潟(岸和田市)
- 主 催 CIFER・コア、共和海建グループ、きしわだ自然資料館
- 参加者数 115名 (CIFER・コア 24名 (うち子供4名)、共和海建グループ 37名、きしわだ自然資料館 54名 (うち子供19名))



- 行 程 11:00 岸和田地蔵浜マルシェ前集合・挨拶
(きしわだ自然資料館 柏尾氏、共和海建グループ 石川氏、CIFER・コア 横山)
- 11:10 乗船・出航 (人工干潟へ)
- 11:40 きしわだ自然資料館の柏尾氏より、注意事項など
- 11:50 人工干潟への海砂の補給活動
- 12:10 干潟生物の観察・採集、護岸清掃 (共和海建グループ)
- 12:50 採取生物の同定と講師による説明 (鯉巾着セリ場)
- 13:20 観察会終了、帰港
- 13:50 昼食(BBQ)
- 14:30 Harbor Station 前で人工干潟造成の経緯を解説 (CIFER・コア 横山)
- 14:50 干潟で採取した生物の観察・同定
- 16:00 終了・解散

○活動内容

今年度2回目、通算8回目となる『阪南2区人工干潟から始めるSDGs活動』には、総勢115名の方が参加されました。南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が心配されましたが、15日に解除され、予定通り干潟観察会を実施することができました。

SDGsの14番目の目標である『海の豊かさを守ろう』に基づき、干潟周辺では共和海建グループによる漂着ごみの清掃や、干潟への海砂の補給活動が参加者全員で行われました。

参加者は、干潟で多くの生物を見つけ、観察や採取を楽しんでいました。中でも、マテガイを捕まえるのに四苦八苦する様子が人気でした。また、カニや貝などのさまざまな種類の生物に加え、アカエイの子どもも見られました。

昼食後には、Harbor Station前で横山理事から、阪南2区人工干潟の造成経緯について説明が行われました。最後に、巾着網漁協共同組合のセリ場では、採取した生物の生態や特徴について図鑑を使って確認し、講師から丁寧な説明を受けました。



交通船で干潟まで



護岸を移動



海砂の補給作業の様子



干潟観察会の様子 生き物の観察・採取など



ハクセンシオマネキ



ソトオリガイ



ケフサイソガニ



ガザミ



Harborstation で
干潟造成の経緯を説明



学芸員の先生の指導のもと、採取した生き物について、種の同定を行った

